



くりはら 市議会だより

第72号

令和4年2月1日



補正 予算 子育て世帯に10万円を支給 2ページ

市の施設 指定管理者が決まる 3ページ

一般質問 まちづくりに17人登壇 6ページ

第2次 総合計画 後期計画が決まる 15ページ

「私もひとこと」
高橋希望さん(栗駒)・鈴木佳明さん(高清水) 16ページ

「若き子たちよ」

(写真提供:迫桜高校写真部)

一般会計 補正予算

16億2150万円を追加

12月定例議会は、12月7日から12月21日までの15日間の会期で開かれ、子育て世帯への10万円給付などを盛り込んだ一般会計補正予算を始め、市の第2次総合計画の後期基本計画の策定【記事15頁】や財産の無償譲渡、指定管理者の指定などの議案を審議し、原案のとおり可決しました。

10万円子育て世帯に給付に

国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、子育て世帯を支援する取り組みとして、18歳以下の児童一人につき10万円相当の給付を行います。

国より、現金10万円の一括給付を認める方針が示されたため、栗原市はその方針により支給します。事業の総額は7億9348万円です。

コロナワクチン接種3回目に1億1258万円

1回目、2回目接種の対象年齢が、当初の16歳以上から12歳以上に拡大になったことや、接種に係る時間外加算や休日加算が追加になったことに加え、3回目接種に伴う接種費用を見込んでいます。

スマート農業導入などの支援に上限400万円

地域農業の維持・発展のため、家族農業経営を始めとする中小規模の農業経営体が、品目の転換や新技術（スマート農業）導入などにより、経営を発展させるための取り組みに必要な経費の一部について、補助金を交付します。事業の総額は3794万円です。

臨時議会



冬に欠かせない灯油

11月30日の臨時議会では、原油価格の高騰に伴う灯油購入費用の助成などを盛り込んだ一般会計補正予算を、原案のとおり可決しました。

主な支援策を掲載します。

緊急福祉灯油助成
1世帯6000円

原油価格の高騰により、灯油の店頭価格が大幅に引き上げられている状況を鑑み、低所得の高齢者世帯に対して、冬期間における家計への負担を軽減するため、灯油の購入に要する費用の一部を助成します。1世帯あたり6000円を支援します。事業の総額は3495万円です。

稲作農家経営継続支援
10町4000円

新型コロナウイルス感染症の影響による外食需要の落ち込みに伴う米価下落により、農業経営の悪化が危惧されています。農家が営農意欲を失わないよう次期作へ向け支援するものです。作付面積10町あたり4000円を支援し、生産の目安を上限とします。事業の総額は2億6883万円です。

市の施設 指定管理者が決まる

民間に市施設の管理運営を任せました。

市民活動支援センター

管理者 特定非営利活動法人 Azumaire
期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年）
管理料 3520万円

瀬峰ふれあいセンター

管理者 栗原市瀬峰地区老人クラブ連合会
期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで（3年）
管理料 108万円

高清水デイサービスセンター・金成デイサービスセンター

管理者 社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会
期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで（3年）
管理料 0円

一迫高齢者生活福祉センター（やすらぎセンター）

管理者 社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会
期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで（3年）
管理料 2300万円

若柳特産物直売センター

管理者 栗原市若柳地区農産物直売所「くりでん」出荷組合
期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年）
管理料 0円

湖畔のみせ 旬彩

管理者 一般社団法人 はなやまネットワーク
期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年）
管理料 0円

若柳総合体育館ほか3施設

管理者 特定非営利活動法人 栗原市スポーツ協会
期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年）
管理料 1億1308万円

文字郷土文化保存伝習館

管理者 一和会
期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年）
管理料 270万円

財産処分

鳥矢崎小跡地
3294万円で売却

平成2年3月に閉校となった、栗駒地区の鳥矢崎小学校跡地を、建築・土木工事業を営む方に売り払うことになりました。

面積 7150・22平方メートル
金額 3294万円

デイサービスセンター4件 指定管理者に無償譲渡

築館デイサービスセンター

相手方 社会福祉法人 迫川会
時期 令和4年4月1日



若柳デイサービスセンター

相手方 社会福祉法人 豊明会
時期 令和4年4月1日



栗駒デイサービスセンター

相手方 社会福祉法人 栗駒峰寿会
時期 令和4年4月1日



志波姫デイサービスセンター

相手方 社会福祉法人 千葉福祉会
時期 令和4年4月1日





くりこま高原駅前広場駐車場の管理運営を調査



企業立地支援の状況を調査



最終処分場の埋め立て状況を調査

事務・事業を調査しました

委員会の活動報告

総務常任委員会、産業建設常任委員会、文教民生常任委員会は、それぞれの所管に属する事務事業の調査を行いました。

駐車場の適正な 管理運営に努めよ

総務

くりこま高原駅前広
場駐車場の管理運営など
に関する調査を行いました。

調査の結果

くりこま高原駅前広
場駐車場では、管理業務
や機械警備業務、現金回
収業務など、業務ごとに
業者へ委託し管理を行っ
ていますが、令和4年度

からは、これらの業務を
一本化して委託する計画
となっており、調査の中
では、大きく3点の課題
が挙げられました。

1点目は、月極駐車場
契約者の駐車区画が指定
されていないことから、
駐車区画に番号を付し、
契約者ごとに区画を指定
するなど、利用者がより
分かりやすく、安心して
駐車できるよう改善を求
めます。

2点目は、放置自動車
を抑制するため、毎日巡
回することとするなど、
委託業務内容の検討を行
う必要があるものと考え

られます。

3点目は、新たに防犯
カメラの設置が計画され
ていますが、駐車場内の
犯罪防止の観点から、警
察などの協議、指導の
下、適正な設置位置と台
数を検討し、より効果的
な犯罪抑止効果が図られ
るよう計画すべきです。

以上のことから、今後、
これまで以上に市民が駐
車場を安全・安心・快適
に利用出来るよう、さら
に検討を行い、駐車場の
適正な管理運営に努めて
ほしいと考えます。



駐車場には、防犯カメラを設置予定

市内産業の活性化で 雇用機会を拡大せよ

産業建設

企業誘致の取り組みに
ついて調査しました。

調査の結果

市内の産業振興と市民
の雇用機会の拡大を図る
ため、市では継続的な首
都圏などの企業訪問など
を行い、造成した工業団
地や空き工場・空き用地
の産業用地情報の提供と
併せて、立地企業に対す
る各種支援策をPRし、
積極的な企業誘致活動を
展開してきました。

市内に事業所や工場を
新設・移設・増設した企
業に対する市独自の奨励
金は、投下固定資産の固
定資産税相当額を3年間
交付する「企業立地促進
奨励金」、投下固定資産
額に応じて一定割合の
額を交付する「企業立
地投資奨励金」、雇用人
数の実績に応じて交付す
る「雇用促進奨励金」が
あり、いずれも市内に住
所を有する常時雇用従業
員の雇用に関して要件を
付しています。これらの

奨励金は、令和2年度で
は延べ33社に対し計8億
9274万円の交付実績
があり、市内産業の活性
化と新規雇用の創出が促
進されたものと考えます。
今後、産業の動向を的確
に把握し、より効果的な
支援に取り組むことを望
みます。

また、立地後において
も、企業の更なる投資を
促し雇用機会の拡大に繋
げるために、立地企業の
優れた製品や技術を市民
や各方面に広く紹介する
など、受注拡大や新規需
要開拓に向けた支援にも
力を入れるべきです。

なお、労働力人口の減
少により、市内において
も人材不足が深刻な問題
となることが見込まれる
ことから、企業誘致活動
と併せて、人材育成・確
保の方策についても検討
することが必要です。

処理施設の更新は 計画通りに進めよ

文教民生

一般廃棄物処理施設の
現状と今後について調査
しました。

調査の結果

一般廃棄物処理施設で
あるクリーンセンター・
衛生センター・最終処分
場の3施設は安全に稼働
し安定していることが確
認できました。

市においては現在、3
施設の老朽化などに伴う
施設の更新に向け、一般
廃棄物処理施設の整備基
本構想策定業務を行っ
ています。今後の計画

推進に当たっては、人口減少に
伴うごみ処理量
やし尿処理量の
減少などを考慮
し、特にクリー
ンセンターにお
いては、二酸化
炭素排出量の削
減や余熱利用な
ど、地球環境に
も配慮した施設
の整備に努める
べきであります。



クリーンセンターを調査

一方、最終処分場の埋
立量は全体の7割ほどに
なり、容量の上限に迫っ
ています。今後は施設の
新設のほか、既存施設を
延命化しての利用など、
さまざまな方法を検討し
ながら最良の選択となる
よう進めるべきです。
また、いずれの処理施
設も市民の安全・安心の
生活に欠かせない施設で
あることから、施設整備
が計画通りに進むよう努
めてほしいと考えます。

一般質問

市政を問う

12月定例議会では17人の議員が登壇し質問を行いました。



魅力ある介護を目指して



保育・医療・介護職の処遇改善を

市長／国は介護職3%9000円予定



議員 佐藤 悟

議員 令和3年度の人事院勧告は、①月給は据え置き、期末勤勉手当は年間0.15か月引き下げとした。支給率は現行通りとすべきである。

②会計年度任用職員の処遇改善をすべきである。
③保育・医療・介護職などの処遇改善をすべきである。

市長 ①市は、人事院勧告に基づいた国の制度に準拠してきた。令和4年6月期で減額・調整の予定。詳細は国に準じ対応する。

は、段階的に3%程度、令和4年2月から収入を1%程度、月額4000円引き上げる予定である。国が示す詳細に基づき対応する。

保険料の助成

議員 ①自転車通学の利用基準、保守定期点検、安全教育の徹底を行うべきである。

②損害賠償保険料を助成し加入促進をはかるべきである。

教育長

①各学校において、通学距離や学年などで定めている。保護者に点検整備の周知・啓発を行い、警察・交通安全指導隊の協力を得ながら、交通ルールの理解・運転技術の習熟に努めている。

②加入は、小学校133人、中学校592人、義務教育学校40人計765人。加入形態も多種多様であり、助成は考えていない。



令和4年産作付の誘導策は万全か

市長／農業の方向性を示せるよう努力



あべ 貞光 議員

議員 米の転作推進の柱となる水田活用の直接交付金の対象農地の見直しが行われるが、市長の見解を聞く。

市長 今後5年間で麦・大豆を含め、一度も水張りをしない水田は交付対象から除外、多年生牧草の戦略作物助成単価は、播種作業の状況により3万5000円から1万円に見直される。交付対象面積の減少や交付単価が減額し市内農家への影響は大きくなる。市長会などで議論・協議していく。

議員 米価の安定を図り、所得確保のためにも転作誘導は重要。早期に農業者にビジョンを示すべき。

市長 5、6月に国の承認を経て正式なビジョンとなる事から農家に示すことが出来ない状況。案の段階であれば2月の座談会で農家に示すことができる。今後は市の農業の方向を示した形で説明できるよう努力していく。



大幅な米価下落に落胆する農業者

議員 生活道路には農道や私道もあるが、除雪対応はまた高齢者世帯の雪かきは、また高齢者世帯が利用する生活道路は、総合支所と調整の上実施している。また、「高齢者日常生活支援業務利用助成事業」により除雪費の一部助成事業を行っている。一括交付金で地域を支え合えるよう検討する。

どうなってる築高グラウンド移転

市長／県に早期完成を働きかける



そうま かつよし 議員



宮野地区に移転計画の築高グラウンド

議員 築高高校グラウンド移転を進めている県に対しての働きかけはどうか。

市長 県が用地取得を検討している土地に、隣接する市の公衆用道路があり、それを利用して整備が可能なことから、早期完成に向けて県に働きかけていきたい。

議員 渋川一帯の排水対策についても方針を聞く。

市長 県の計画を確認しながら、身近な排水路整備や水田が持つ貯水機能を活かした、田んぼダムなどの対策を検討していきたい。

議員 「国際リニアコライダー（ILC）」の誘致実現で、多方面にビジネスチャンスが出てくるのでは。市長 市では誘致の実現に向け、推進団体と連携しながら要望活動などを実施。また、推進協議会によるビジョンでは、市は研究圏域の中心に近く「中域交流圏」に含まれており、栗原の住環境を中心にPRの取り組みを進めていきたい。

「ILC」の誘致実現



菅原 麻紀 議員



大規模改修に工事を追加すべき

教育長／改めて調査・協議のうえ検討



改修工事中の栗原南中学校

議員 栗原南中学校の大規模改修に保健室、図書室、職員室、校長室が対象になっていない。現状はだいぶ傷んでいるが、この機会に工事に含めてはどうか。

教育長 現在着手している改修工事は、設計段階において協議検討を行ったが、職員室などを含めると工期内に完了困難と見込んだので、普通教室優先とし工事を行わないこととした。

議員 職員室などの破損や

老朽化を把握しているのであれば、今後工事をする予定を考えているのか。

教育長 改めて詳細な調査を行った上で学校とも協議し、実施できるか検討をしていく。

議員 工事をするにあたり近隣住民、PTAの方への説明をしっかりとしたのか。

教育長 業者との契約が10月20日でその後の打ち合わせになり、11月上旬に文書での知らせとなった。

議員 ほかの学校の傷みの状況は把握しているのか。

教育長 3年かけて調査している。それをベースに確認しながら施設整備にあたっていく。

議員 学校のHP更新は教育委員会で確認しているか。

教育長 学校ごとに担当が更新している。校長会で更新の指導はしている。

議員 晩婚化している時代、市の婚活イベントについてどのように考えているか。

市長 1月に事前セミナーと、オンラインでのイベント開催を予定している。出合いの場の提供が必要だし何かしらの手を打たなくてはいけないと感じている。



コロナ禍の行動制限緩和の条件は

市長／感染拡大の状況を踏まえ決定する



澤 幸浩 議員

議員 新型コロナウイルス感染症において、「飲食」「イベント」「移動」については規制が条件付きで緩和されている。社会経済活動の本格的な再開を目指す中で、市においては今後、新型コ

議員 新型コロナウイルス感染症において、「飲食」「イベント」「移動」については規制が条件付きで緩和されている。社会経済活動の本格的な再開を目指す中で、市においては今後、新型コ

議員 令和3年産米の概算



春の祭事が待ち遠しい（金成小迫・白山神社）

ロナウイルス感染の行動規制緩和に向け、どのような対応がなされるのか。

市長 市が主催するイベント・会議開催方針については、感染拡大を防止する目的で、国の基本的対処方針や県のイベント開催方針に基づきながら、市内の感染状況を踏まえ、主催するイベント・会議開催方針を決定していく。

議員 令和3年産米の概算

議員 金については、全国の米産地で大幅な下落となり、今後も価格下落・低迷が継続していく懸念がある。稲作農家、担い手経営体が将来の水田農業経営を展望できるように、市は今後どのように農政対策を推進していくのか。

市長 家族農業経営を始めとする、中小規模の意欲ある農業経営体などによる、地域の特性や優位性を活かした営農の取り組みに対し支援を行う。

議員 市が目指す「地域共生社会」の中で、市内の重症心身障がい児の急変時でも対応できる、市内における医療的支援を求めるがどうか。

市長 医療的ケア児に対する支援の取り組みは、県内各地域の医療機関などで短期入所の病床の確保、空白圏域の解消と利用者の利便性の向上に取り組んでいる。



市の観光と物産の今後は

市長／観光戦略会議を設置し推進



きくち ひろし 議員

議員 佐藤新体制での市の観光と物産の取り組みや展開が見えない。栗原には栗駒山を始め、伊豆沼や温泉など観光資源が豊富にある。外から観光客を呼び観光地として活性化させるために

はどう進めていくか。「栗原市観光物産協会」との連携はどうするのか。栗登一平4市町や南三陸町など、他市町との観光連携はどう考えるか。

市長 市では現在、市観光振興ビジョンの策定に取り組んでいる。今後は観光戦略会議を設置し、観光と物産の振興に努める。観光物産協会とは、観光振興の推進役として事業の調整と管



栗原の観光と物産販売拡大事業

理を連携協力していく。栗登一平4市町連携では、広域的な観光連携に取り組んでいく。

商工業者への今後の支援策

議員 市の地域経済を支えている中小企業にさまざまな支援策は必要だと思う。市では対策や支援策は考えているのか。予算の範囲内で通年利用できる補助金支援事業を行ってどうか。空き店舗の対策や活用策は考えていないのか。

市長 今後の対策や支援策は、中小企業等事業継承支援事業を令和4年度に実施する予定だ。「栗原市中小企業振興会議」で協議し振興施策を推進する。空き店舗の活用は賃貸料や改修費、研修費の支援を今後も引き続き行っていく。他に第三セクター運営での宿泊施設の在り方と今後を質問した。

築館高校グラウンド移転の進捗は

市長／早期実現に向け強く働きかける



たかはし わたる 議員



実現急がれる築館高校野球場

る。移転することにより工業用地が拡充する。企業誘致に一層の弾みがつく。

市長 現時点においては、県からの移転に係る取得条件などが示されていない。今後の交渉を踏まえ検討する。

議員 移転の進捗が遅い。その理由は何か。

市長 県の求めに応じ、その都度必要な情報を提供し、早期の着手を働きかけてきた。引き続き早期実現に向け努力する。

一律10万円 給付の対応は

議員 国の子育て世帯への臨時特別給付金の給付については、自治体の実情に応じて実施されることになっている。市の対応は。

市長 令和3年内に現金一括給付することで準備を進めている。

議員 給付をスムーズに行うためにはマイナンバーカードとの関連が必要である。普及を急ぐべきでは。

市長 市内各総合支所で申請の支援を行っている。利便性や安全性を周知し、取得の拡大を図りたい。



高橋 勝男 議員



栗駒山渋滞対策とRVパーク新設を

市長／交通規制を検討・新キャンプ場を計画



栗駒山の紅葉シーズンで渋滞する車両

議員 栗駒山の紅葉シーズンでは、交通渋滞が発生し問題になったが、来年度に向けた対応策は。

また、交通規制も必要と考えるが。

市長 市・県・警察など関係機関と協議を行っており、一般車両の進入規制を含め協議を進めている。

議員 令和4年度からの「山脈ハウス」指定管理者の応募状況は。

また、ハイルザーム栗駒

や山脈ハウス駐車場を利用したRVパーク（車中泊施設）の新設を検討しては。

市長 山脈ハウスの指定管理については、市内の2社から応募があり、RVパークについては、ハイルザーム栗駒や山脈ハウスを含めこの周辺に新しいキャンプ場整備を計画し、どのような形態が良いか今後検討。

議員 登米市の認定ことも園に刃物を持った男が侵入した事件を受け、栗原市の対応は。

教育長 不審者対応マニュアルの整備、日中の玄関施設、子どもたちの避難訓練を毎年実施している。

議員 学校への不審電話対応は。

教育長 ナンバーディスプレイ対応の電話機の設置や音声メッセージを流すことも検討していく。

議員 通学路の安全点検の結果と今後の対応は。

教育長 各小学校から96箇所危険箇所の報告があり、点検の結果87箇所対策が必要。注意喚起や安全指導の強化、信号機や横断歩道などの移設14箇所の施設整備については随時実施する。



スマホやタブレットの有効活用を

市長／大変便利なツールの一つと認識



浦 善浩 議員

議員 ①無料通信アプリLINE（ライン）を活用して児童虐待やドメスティックバイオレンス（DV）の相談を受け付ける事業を導入してはどうか。（電話や対面では通報しづらい相談

者を支援するために）②市の情報を入力するのに、スマホは大変便利である。デジタル化から取り残される人を減らすという観点から、高齢者が従来型の携帯「ガラケー」からスマホに買い替える際の、購入費用を補助する事業を取り入れてはどうか。

市長 ①市は、面談や電話で対応し、内容により警察や児童相談所に連絡し、連



便利に必要なツール、スマホなど

携している。相談しやすさからLINE（ライン）について、早速担当部局と相談していく。②補助は考えていない。スマホ教室を開催することも考えてみたい。

議員 「命を守る」がん対策を

議員 子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）の定期接種に関して聞く。①昨年10月に国から対象者への情報提供に関する指示があったが、市の対応と今後の予定は。②キャッチアップ制度が導入された場合には、情報提供の方法にどんな周知を予定しているのか。

市長 ①国からの指示が出る前の昨年4月に、対象者およびその家族に対し、公費による定期接種が受けられることを通知した。来年度以降も同様に継続の予定である。②国の方針決定後、栗原市医師会と相談しながら、速やかに対応したい。



学校給食費無料化の実施時期は

市長／令和5年度から実施



すがわら ゆうき 議員
菅原 勇喜

議員 ①小・中学生学校給食費無料化の具体的なスケジュールと財源を明らかにされたい。②25人学級の実施時期と財源を明らかにされたい。

市長 ①令和5年度から市内に居住する小・中学生の



若柳小学校 学校給食の様子

給食費の無料化と、市外に通学する小・中学生の給食費相当分の補助を行い子育て世代の経済的負担の軽減を図る。②令和4年度から小学校の1・2年生で実施する予定であり、任期付き市費負担教員の採用を1月7日までの期間で募集している。

議員 带状疱疹ワクチン接種助成制度の創設を

人が子どものときに感染する水疱瘡のウイルスが原因で起こり、治った後も3か月以上痛みが続く人が、50歳以上の発症者のうち約2割になるといわれている。ワクチンが接種できるようになったが、2回接種の場合44000円と高額である。名古屋市をはじめ、いくつかの自治体で予防接種の費用助成が始まっており、先進事例に学んで栗原市においても助成事業に取り組まれてはどうか。

市長 带状疱疹ワクチンについては、国の厚生科学審議会において、定期接種化に向けて効果の持続性や発症頻度から導入に最適な対象年齢と期待される効果、安全性などについて議論が慎重に進められている。市としては国の動向や他の自治体の費用助成状況を注視していきたい。

大丈夫か 栗駒山渋滞対策

市長／関係機関とよく協議していく



ささき かつゆき 議員
佐々木嘉郎



2時間ほどでいっぱいになった旧いこの村駐車場

議員 10月3日早朝から、いわかがみ平、旧いこの村駐車場は大混雑した。県や警察とはしっかり協議してきたか。

市長 来年は一般車両の進入規制を含めた交通規制について、関係する機関と協議を進める。

議員 渋滞対策の委託先とは十分な協議をしたか。

市長 委託先は一般社団法人栗原市観光物産協会で、事業内容の確認や協力金徴

収方法、臨時駐車場の満車時の対応も含めた協議をしてきた。渋滞対策実施中も定期的に打ち合わせをしてきた。

議員 設置したトイレは環境保全型にすべきでは。

市長 検討する。4基設置したが増設の方向で検討する。

議員 環境保全協力金は来訪者の理解を得られたか。

市長 環境保護を趣旨とした協力依頼であり、事前に市広報やホームページ、観光物産協会のフェイスブックなどでお知らせし、多くの人に理解を得られた。

議員 今年の紅葉時期の入込み数はどうか。

市長 渋滞対策期間中のシャトルバス利用者は2万3042人である。

議員 シャトルバスは、もっと早い時間から運行してほしいとの要望がある。

市長 早朝登山希望者から意見がある。運行事業者と協議が必要なので、来年に向け検討していく。

他に①オートキャンプ場整備②ハウス農家の燃料費支援③幼保施設の不審者対応について質問した。



い が ら し い さ み
五十嵐 勇 議員



高原駅駐車場管理の方向性は

市長／現時点で有料化の追加計画ない



駐車場出入口機器を撤去してはどうか

議員 前回の定例議会において、くりこま高原駅駐車場料金値上げの条例改正案が提出され、総務常任委員会での付託議案審査の結果否決となり、その後市長が議案を撤回したが、委員会の決定をどう受け止めているか。

市長 これまでの駐車場管理における課題の解消や、今後想定される改修工事のほか、業務の効率化などの観点から、総合的に管理方法を

を見直しする中で、駐車場使用料改正を提案した。使用料の引き上げは、未だコロナ禍にある市民への影響や利用状況に対する配慮など、提案について十分でなかった。今後も利用者の要望や利便性などを踏まえ、適正な管理を行っていきけるよう努めていく。

議員 防犯カメラの設置計画で、3か所の無料駐車場のうち1か所に設置とあるが、今後有料駐車場にする前提での計画なのか。

市長 防犯上の観点と電気配線や向きなどの条件を勘案し、可能な個所に設置するもので、現時点で有料駐車場にする計画はない。

議員 現在の無料、時間貸、月極貸の3パターンの形態を、無料と月極貸の2パターンとし、駐車場の管制機器、料金精算機などを撤廃し、関連する5業者との駐車場管理委託業務を見直すべきと思うが。

市長 安全で快適な駐車環境を整えるための経費相当分として、利用者に使用料を負担していただいております。現状の方法が最善と考えている。



修繕が必要なコミュニティセンター

議員 当センターは去年の積雪で雨樋が壊れ、外壁も経年劣化で塗装する必要がある。地域で維持できない場合、このまま利用して良いか聞く。

市長 集会施設を長く利用するためにも、適切な維持管理が必要なので、施設の補修を行う際は「栗原市集会施設建設等補助金」を活用されたい。

議員 第2次栗原市総合計画の中で、市道栗原中央西線整備で令和4年度1億100万円である。内容は。

市長 市道八幡下久伝線との交差点から市道左足本木線との交差点までの舗装工



か ず た か
一孝 議員
に じ り ぬ ま
濁 沼

議員 未整備区間の整備を行い、令和5年度完成を目指す。市道山子線は令和8年度に調査測量設計業務を実施する計画である。

議員 市道小屋敷線は舗装が割れて、自動車の車底が

事の事業費である。

議員 市道辻前遠堀線2期、市道山子線道路整備事業を計画しているが事業費の内訳を聞く。

市長 鶯沢南郷日向地内の

議員 滝ノ原コミュニティセンターについて

議員 当センターは去年の積雪で雨樋が壊れ、外壁も経年劣化で塗装する必要がある。地域で維持できない場合、このまま利用して良いか聞く。

市長 集会施設を長く利用するためにも、適切な維持管理が必要なので、施設の補修を行う際は「栗原市集会施設建設等補助金」を活用されたい。

接する箇所がある。また、両側の立木が道路にはみだし通行の妨げになっている。早急に整備すべきと思うが見解を聞く。

市長 現地を調査したところ、倒木が確認されたため、所有者に除却を行うよう依頼している。舗装については点在する穴ほこを緊急で補修したところであり、必要性、緊急性などを見極め事業に取り組んでいく。



第2次栗原市総合計画について

市長／魅力ある田園都市を目指す



有害獣処分施設の整備を急ぐべき

市長／令和5年度の建設で進めたい



おの 小野 久一 議員

議員 今、市内の農家を訪ねると「獣の被害を何とかしてほしい、特にイノシシは田んぼで寝転んで臭いがコメに移る、畦畔を壊す、芋などを食べる、耕英地区ではイチゴがやられた」など訴えられる。直近のイノシシ・クマのわな設置状況と捕獲頭数を聞く。

市長 11月現在、イノシシは出没260件、箱わな37基、くくりわな604基で164頭を捕獲、ツキノワグマは出没190件、箱わな28基で19頭捕獲した。

議員 イノシシよけの電気柵の補助金は申請者にもれなく交付されたか。
市長 電気柵の申請件数は



箱わなで捕獲されたイノシシ

216件で、すべて交付対象となっている。

議員 有害獣処分施設とジビエ食肉加工施設の整備が求められているが対策は。

市長 有害鳥獣減容化処理施設の建設を計画している。国の交付金を活用し、市鳥獣被害防止対策協議会が事業主体となり整備する。

住民要望の実現を求む

議員 栗駒田町地区の住宅地内に土水路の大排水路があり、高齢の3人の方が雑草の草刈りをして管理している。整備し安心して暮らせる環境にすべきでないか。また防犯灯設置の要望箇所数と解消年次を示せ。

市長 排水路は総合支所で現状を把握し、維持管理に苦慮しているとのこと。緊急性などを精査の上、整備の時期を検討する。防犯灯は1年に移設8件を見込み解消年次は長期にわたる。



高清水中学校の跡地利用を問う

市長／地区住民との意見交換会を行う



おがた 尾形 勝通 議員



高清水中学校の現在の姿

換会をできるだけ早く開催する。そして地域の意向を聴きながら、施設の取り扱いや地域運営組織の設立についての支援などを検討する。

六角牧場 風力発電への対応は

議員 大崎市川渡と栗原市にまたがって、高さ208m、羽根の長さ136mと巨大風力発電20基の建設計画が進められている。騒音や低周波による健康被害、栗駒山系に連なる鳴子温泉郷の景観破壊、観光への悪影響、森林伐採に伴う土砂災害リスクなど、健康・環境・景観への被害リスクが懸念される。栗原市の緑豊かな自然環境、そして景観、市民の安全・安心な暮らしを守る市長の対応は。

市長 発電事業者が現在調査している環境影響評価に係る調査結果を踏まえ、発電事業者に対し住民の健康と生活環境、景観や災害リスクなどに最大限配慮した事業計画が策定されるよう大崎市と連携を図り対応する。県から意見照会時にリスク対応の意見を伝える。

議員 高清水中学校の跡地利用は地区住民の関心が非常に高く、かつての学び舎を地域活性化の拠点施設として生まれ変わらせたいと願っている。それを実現するには市の支援と協力が欠かせない。以前より望まれていた地区住民との意見交換会はいつ開催するのか。また跡地利用についてのプロジェクトや地域運営組織などの設立を提言する。

市長 地区住民との意見交換



佐藤 文男 議員



市道姫松金田線の路盤改良を 市長／必要に応じて検討する



路肩の沈下で車が傾く

議員 市道姫松金田線は、これまで水道管敷設や大型車両の往来で全線的に道路の損傷がひどい。特に旧姫松小学校から広域農道交差点までは道路両側の路肩が中央部分より沈下がひどく車は大きく傾いて通行している状態だ。また、大崩浄水場付近は沈下が波状に連続している。ほかにも部分的な損傷が多くあり、安全な通行に支障がある。全線の点検と路盤改良すべきだ。

市長 舗装の亀裂や部分的な沈下を確認している。舗装の修理は、道路の使用状況や維持管理上の必要性・緊急性などを見極めながら安全性を確保し、路盤改良も必要に応じて検討する。

議員 高齢になると徐々に聴力が低下していく。難聴によりコミュニケーションが取りにくく認知症発症の大きな要因とも言われている。検診による聴力検査をすることにより、自分の聴力を知ることができ、補聴器使用などの対策がとれるため、認知症予防につながる。集団検診に高齢者の聴力検査を実施すべき。

市長 集団検診のオプション項目として検診団体と調整しているが、コロナ感染症対策として検査を行う部屋の換気を常に行う必要がある。ノイズの影響により正確な検査が行えないため実施時期は未定となっている。実施に向け検診団体と調整を継続していく。

他に市街地の除融雪対策について質問した。

集団検診に高齢者の聴力検査を



待機児童の解消で子育てできる環境づくりを



育休の退園問題を解消すべき

市長／保育所の継続利用を前向きに検討



高橋 将 議員

議員 ①育児休業休暇に伴う保育所の継続利用の現状は。②継続利用を可能とするべきかどうか。③年度内に保育士人員が不足するなら、妊婦数から新生児数を把握し、連携して保育士確保策を検討すべき。

オンライン面会の拡充

議員 ①ネオニコチノイド系農薬使用についての考えは。②有機農業推進の考えは。③田んぼダムモデル地区を設置の考えは。

市長 ①国では化学農薬使用量の50%低減を目指している。関係機関の動向を注視し対応を検討していく。

②今年度、有機農業推進計画を策定し、慣行栽培との差別化など行い、関係機関と連携して推進する。

③宮野地区排水対策としてモデル地区を検討していく。

議員 ①育児休業休暇に伴う保育所の継続利用の現状は。②継続利用を可能とするべきかどうか。③年度内に保育士人員が不足するなら、妊婦数から新生児数を把握し、連携して保育士確保策を検討すべき。

議員 ①ネオニコチノイド系農薬使用についての考えは。②有機農業推進の考えは。③田んぼダムモデル地区を設置の考えは。



活気を取り戻してきている商店街

特徴として、①「世界共通の目標」である持続可能な開発目標（SDGs）は市政運営の基本理念の考え方に合致するので、市民と共に推進し、②新型コロナウイルス感染症への対応は、感染症への対応と経済活性化の両立を視点に入れ、新しい生活様式を実践しながら、あらゆる場面での感染症対策を常に意識し、社会情勢や市民・事業者などのニーズに応じた取り組みを進めるとしています。

第2次 総合計画

後期5年計画を可決

持続可能なまちづくりを推進

12月定例議会において、市は「第2次総合計画」の後期5年間（令和4年度から令和8年度まで）のまちづくり計画を議会に提案しました。

特徴として、①持続可能な開発目標（SDGs）との関係、②新型コロナウイルス感染症への対応など、新たな視点が加えられました。議会は、原案のとおり可決しました。

市は、市政運営の基本理念に掲げている「市民が創る くらしたい栗原」の実現に向け、平成29年度（2017年度）から令和8年

度（2026年度）までの10年間を計画期間とする「第2次栗原市総合計画」を策定しました。

第2次総合計画の計画期間は、前期・後期それぞれ5年間となっています。今回、後期5年間（令和4年度から令和8年度まで）のまちづくり計画が議会に示されました。

特徴として、①「世界共通の目標」である持続可能な開発目標（SDGs）は

市政運営の基本理念の考え方に合致するので、市民と共に推進し、②新型コロナウイルス感染症への対応は、

感染症への対応と経済活性化の両立を視点に入れ、新しい生活様式を実践しながら、あらゆる場面での感染症対策を常に意識し、社会情勢や市民・事業者などの

ニーズに応じた取り組みを進めるとしています。

後期5年計画に追加された主な「具体的な取り組み」

空家の適正管理の推進

防犯・防災の観点から定期的なパトロールを行い、空家の適切な管理を指導する。

不育症検査費用の助成

県の不育症検査費用助成制度と連携し、夫婦の経済的負担の軽減を図る。

給食費の無料化

小中学校の給食費無料化などにより、子育て応援事業を充実させる。

在宅介護への支援の充実

在宅生活を継続できるよう、在宅で介護をする方への支援の充実を図る。

有害鳥獣対策の強化

防護柵設置への助成や鳥獣被害対策実施隊の活動支援などと併せて、捕獲鳥獣の処理対策に取り組む。

観光推進体制づくり

観光地域づくりの舵取り役としての持続可能な事業主体の立ち上げを検討する。

オンライン手続きの充実

マイナンバーカードを利用したオンライン手続きなどを充実し、より利便性の高い行政サービスの提供と手続きの簡素化を図る。

ひとくちメモ

※ エスディージーズ
SDGsとは

2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）は、2030年を目標年とし、「誰一人取り残されない」持続可能な世界の実現に向け、貧困の撲滅や教育の充実、気候変動への対策、陸や海の豊かさを守るといった17の目標と、それを実現するための169の具体目標から構成される「世界共通の目標」です。

陳

情

12月定例議会に5件の陳情が提出されました。

（敬称略）

令和4年度税制改正に関する提言について

一般社団法人

宮城県法人会連合会

会長 菅原 裕典

公益社団法人

栗原法人会

会長 上田 徹

米の需給調整および米価下落・稲作経営農家支援対策に関する緊急要請書

新みやぎ農業協同組合代表理事組合長

宮城県農協政治連盟JA

新みやぎ支部支部長

大坪 輝夫

ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書

特定非営利活動法人

日本ウイグル協会

会長 于田 ケリム

「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための意見書」採択を求める陳情書

宮城県医療労働組合

連合会

執行委員長 中山 修

母（毛嘉萍）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望

付 偉形

豚は三回生きる

3・11で生き残った有難豚ありがとんという豚を育てています。SDGSエス・ディー・ジー・ズで消費者や飲食店と10年かけて取り組んできたアニマルウェルフェア養豚取材していただく事が増えました。世界の畜産動向を研究し、豚を家族単位で飼い自由を拘束せず、日本の1%以下の昔の品種と適正規模の経営を目指しています。自分の農場がないため、世田谷で豚を飼ったときに出会った早慶の学生たちとの活動は7年目を迎え、豚の三回の生「誕生・豚肉・食卓の先」まで主体的に関わる制度が人気です。

私が祖父母から引き継いできた養豚は命を育て届ける仕事です。未来に続く養豚を栗原で実現させたいので、餌や販路も探しています。皆様の知恵を貸してください。



のぞみ 希望さん
(栗駒)
たかはし 高橋

私もひとこと

市議会定例会を傍聴して



よしあき 佳明さん
(高清水)
すずき 鈴木

市議会は友人と、定例会中の一日は議場で傍聴することになっています。コロナ禍で制限がありますが、対策はされています。12月定例会に17人の議員さんが、市民の声を現在・未来の生活に関わる諸問題と一般質問に通告書を出しています。私は、議会傍聴のために学ぶことがあります。

今回は札幌市の事業者などが「六角牧場風力発電事業」の風車の高さ200mは驚きです。当該地域住民への環境影響被害を懸念されると議員が質問しています。執行部は、全てに対して丁寧に答弁していると思います。

!!議会に要望!!『若人が集う安全安心な栗原・定住したい栗原』を市民は現在・未来にと議会に託しています。

あとがき

今年の干支は寅です。「火伏の虎」のように、中国の故事から、「風は虎に従う」、今年はコロナ風を封じ込めてもらいたいものですが、また新たな変異株の感染拡大が懸念される事態となっています。私たちは感染防止と緊張感の維持をもって、これからも社会生活を送るようです。しかし、栗原市を取り巻く諸課題は、コロナ禍だからと待ってはくれません。今後も紙面を通じて、議会の取り組みをわかりやすく伝えるよう努めていきます。

発行責任者

澤邊 幸浩

広報編集調査特別委員会

議長 藤 千昭
委員長 三 塚 東
副委員長 菅 原 紀
委員 菅 原 麻 紀
委員 鹿 野 芳 幸
委員 澤 邊 幸 浩
委員 小 野 久 一
委員 菊 地 広 志
委員 佐 藤 悟
委員 三 浦 善 浩
委員 菅 原 勇 喜

